平成２７年度学校図書館活用教育全体計画

大田市立第二中学校

日本国憲法
教育基本法
諸法規

学校教育目標

『自ら学び、心を磨き、体を鍛える生徒の育成』

めざす生徒像
- 自ら進んで学ぶ生徒
- 明るく活発な礼儀正しい生徒
- 思いやりの気持ちを持ち、共に生きる喜びを感じる生徒
- 健康で粘り強く取り組む生徒

生徒の実態
保護者地域の願い
教師の願い

研究主題

豊かな心を持ち、自ら学ぶ生徒の育成

図書館教育の目標
- 読書に対する興味関心を高め、主体的に読書する態度を育てる
- 読書活動を通して豊かな心を育てる。
- 各種資料の効果的な活用を通し、知識を広げ、自分の考えを深める。

第１学年　指導の重点

学校図書館の活用方法を確認し、読書に対する意識を高めるとともに目的に応じて必要な情報を読み取る能力を育てる。

第２学年　指導の重点

学校図書館を効果的に活用し、意欲的に読書に取り組むとともに、適切な情報を読み取り自分の考えをまとめる能力を育てる。

第３学年　指導の重点

学校図書館を効果的に活用し、意欲的に読書に取り組むとともに、読書を通して知識を広げたり、自分の考えを深めたりする能力を育てる。

各教科

学校図書館を活用した学習活動を充実させ、情報活用能力の育成を図る。

道徳

さまざまな資料を活用し、豊かな心や、互いに認め合い、高め合う態度を育てる。

特別活動

学校図書館の利用に必要な知識や方法を身につけさせ、自発的な学習態度を育てる。

総合的な学習の時間

学校図書館の活用を通し、問題の解決や探求活動に適切に取り組める力の育成を図る。

各学級
- 朝読書をはじめとする読書活動を通して、読書意欲の向上や発達段階に応じた読書の質の向上を図る。
- 情報の収集能力、活用能力の向上のための学校図書館の利用を推進する。

地域・社会・家庭との連携
- 家庭における読書の習慣化を図る。
- 保護者に対して、学校図書館教育に関する情報を発信する。
- 公共図書館との連携を図る。